

令和4年 1月20日
大洲河川国道事務所

ひじかわ
国道56号 **5代目肱川橋の工事が完了！**

ひじかわ
～**令和4年3月12日（土）**に新しい肱川橋へ交通切替を実施します～

四国地方整備局大洲河川国道事務所が平成21年度より整備を進めている肱川橋橋梁架替事業の内、新橋への架替工事が完了し、迂回路（仮橋）から国道本線への交通切替を実施します。

新橋の一般通行開始時刻については、詳細が決まり次第改めてお知らせします。

なお、肱川橋周辺では交通切替後も、事業の完了まで引き続き通行規制や夜間工事等を実施しますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

交通切替箇所：国道56号 愛媛県大洲市大洲～同市中村

交通切替日：令和4年3月12日（土）

～架替により期待される効果～

効果1：大規模地震に備え、落橋や倒壊を防ぐ**地震に強い橋**になります。

効果2：安全・安心に通行できる**歩行空間を確保**します。

効果3：大洲市の歴史的観光資源を活かした**観光振興を支援**します。

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「No. 1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」等の取組に該当します。

【問い合わせ先】

○主な問い合わせ先

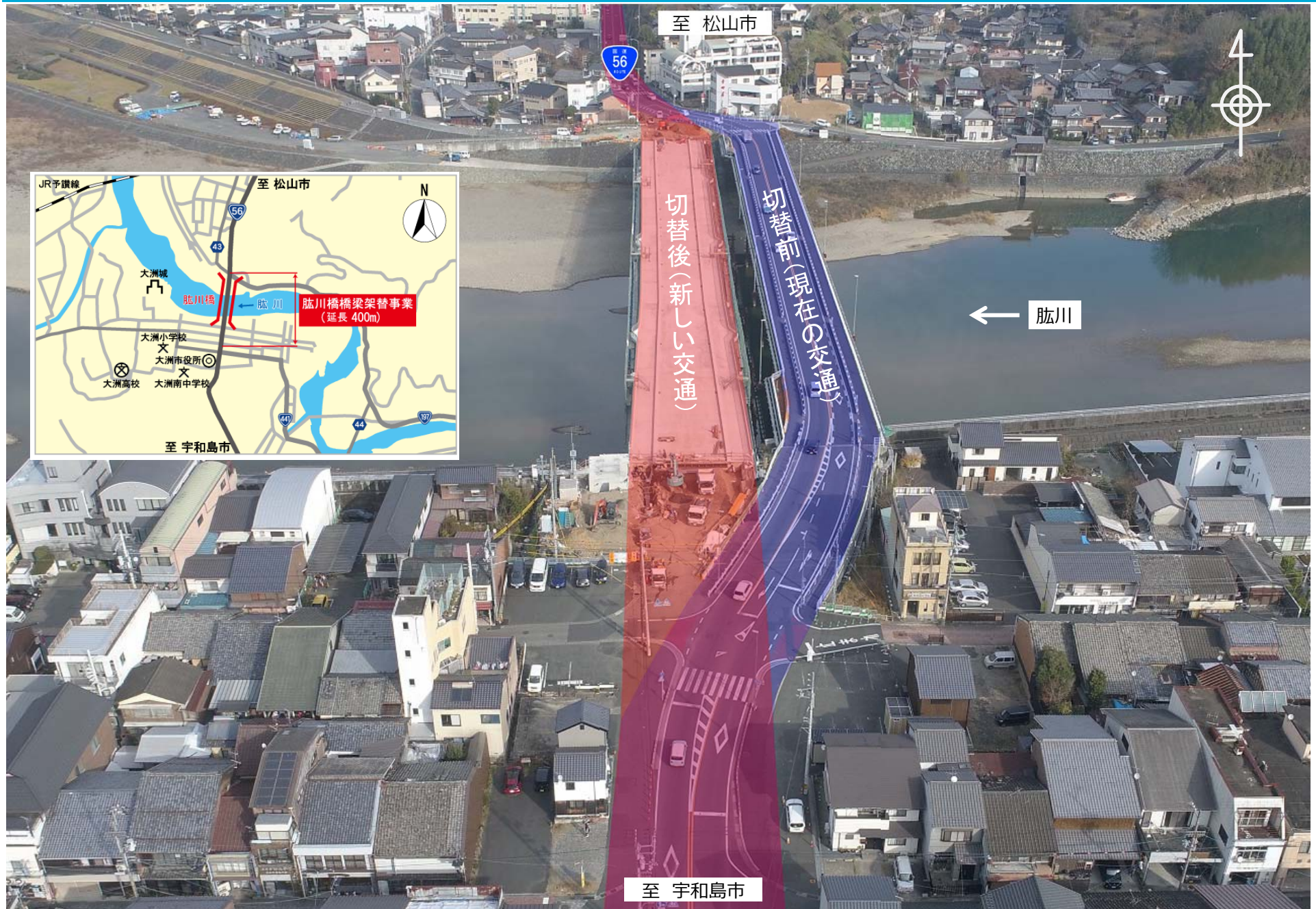
国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 TEL：0893-24-5185（代）

副所長（道路） おおにし あつし 大西 篤（内線205）

○工務第二課長 のがみ なおき 野上 直樹（内線411）



令和4年3月12日(土) に新しい肱川橋に交通切替を実施します



肱川橋橋梁架替事業の概要

- 肱川橋橋梁架替事業は、大正2年竣工後100年以上経過した肱川橋の**大規模地震時の耐震性能不足の解消**や、安全・安心に通勤・通学できる**歩行空間の確保**を目的とする事業です。
- **景観に配慮した新橋の整備**による**大洲市の歴史的観光資源を活かした観光振興を支援**しています。

【位置図】

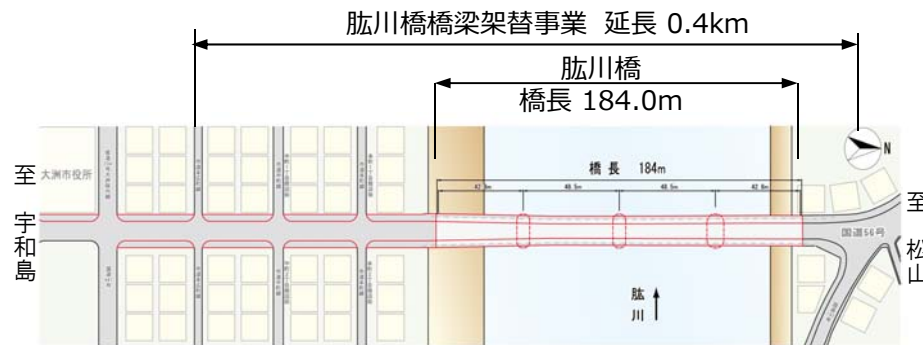


肱川橋橋梁架替

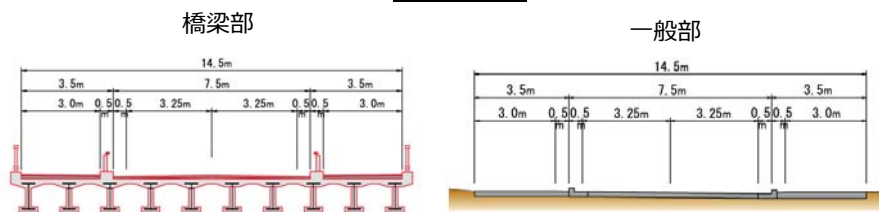
【事業概要】

事業化年度	平成21年度
事業区間	おおず おおず 自) 大洲市大洲 至) 大洲市中村
事業延長	0.4 km
橋梁名	肱川橋
橋長	184.0 m

平面図



標準断面図



～現在の施工状況～



～肱川橋の歴史～

初代

大正2年9月完成。詳細は不明ですが上部工は鋼製のトラス橋で、橋脚はレンガ積みと見られます。



出典：文化歴史資料館

二代目

昭和18年頃の写真では、上部工をケーブルで吊る補強を加えています。幅員は5～6mです。



三代目

昭和36年に2車線のプレートガーダー橋に架け替えられ、橋脚はコンクリート製となりました。



四代目

昭和42年に主桁増設によって下流側に向かって2.5mの拡幅を実施しました。



【効果1】大規模地震に備え、落橋や倒壊を防ぐ地震に強い橋になります

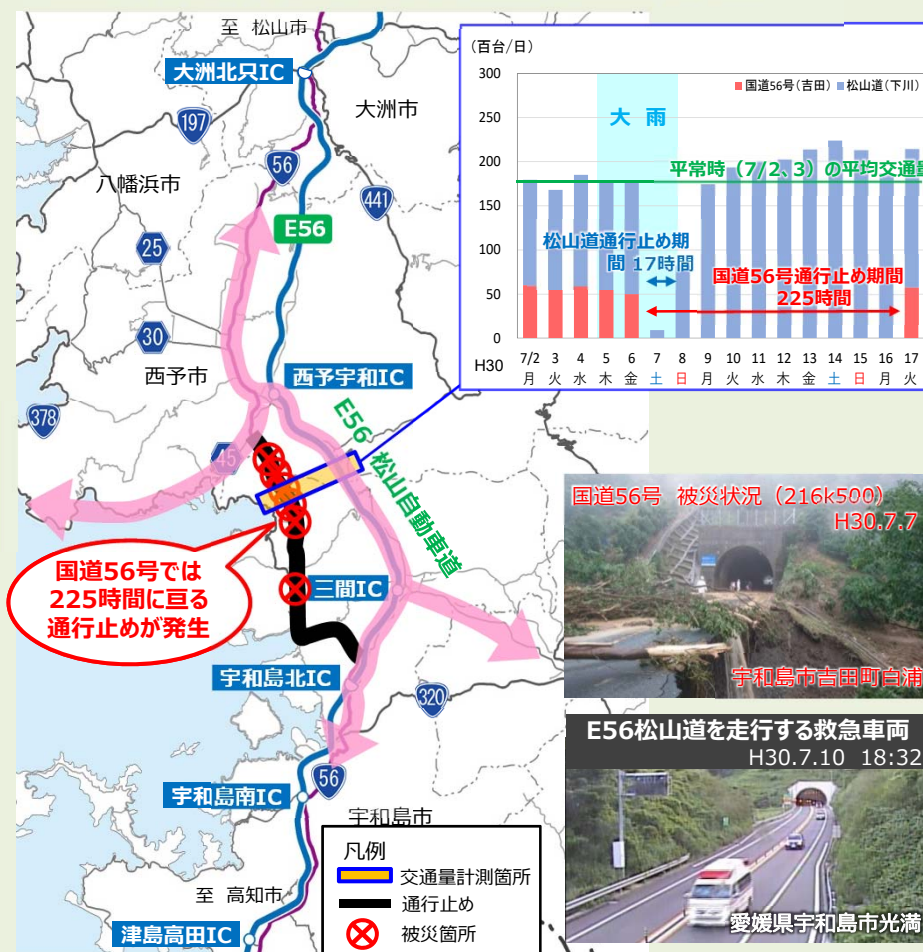
- 竣工後100年以上経過した架替前の肱川橋は、大規模地震時の耐震性能が不足していました。架替により耐震性能不足が解消され、大規模地震における交通途絶リスクが軽減されます。
- 松山自動車道とのダブルネットワークによる信頼性の高い緊急輸送路が確保されます。

～多重化された緊急輸送路～



【平成30年7月豪雨におけるダブルネットワークの効果事例】

松山自動車道と国道56号のダブルネットワークにより
復旧や救急、支援活動などのための道路を確保



※この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」を基に編集・加工したものである。

【効果2】安全・安心に通行できる歩行空間を確保します

- 肱川橋は地域の商業活動や通学など生活道として多くの方に利用されています。
架替前の肱川橋は歩道幅員が狭くすれ違いが困難な状況であり、利用者や保護者から安全な歩行空間の確保を訴える声があがっていました。
- 架替により広い歩道が整備され、安全なすれ違いが可能となり、歩行者等の安全性が向上します。

～市役所、大洲高校への通勤・通学ルート～

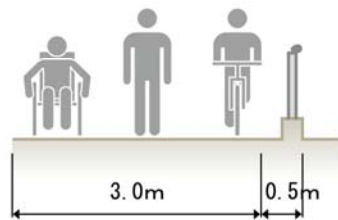
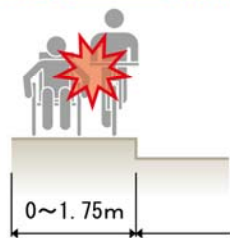


～歩行空間の確保～

歩道幅員が狭くすれ違い困難 → 歩道幅員が広く安全なすれ違いが可能

整備前 すれ違い時に危険!

整備後 安全なすれ違い



大洲高校PTAからの声

- ◇ 毎朝多くの生徒が利用しているが歩道幅員が狭く危なく感じる。
- ◇ 安全に通学できる広い歩道の整備が必要だと思う。

大洲市からの要望

- ◇ 歩行空間としての安全性に欠け、通勤・通学時における歩行者や自転車利用者にとって大変危険な環境となっている。
- ◇ 安全かつ快適な歩道の整備を要望する。

【効果3】大洲市の歴史的観光資源を活かした観光振興を支援します 国土交通省

- 肱川橋周辺**には**大洲城をはじめ大洲市を代表する観光地が点在し、大洲市景観計画区域に指定**されています。
- 大洲市は愛媛県内初の地域DMOを設立**し、歴史的観光資源を活かした観光振興に取り組んでいます。
- 新しい肱川橋は、地域住民や学識経験者などで構成する「**肱川橋周辺まちづくり検討委員会**」により、**伊予の小京都「大洲」観光の玄関口として景観に配慮した設計**を採用しています。

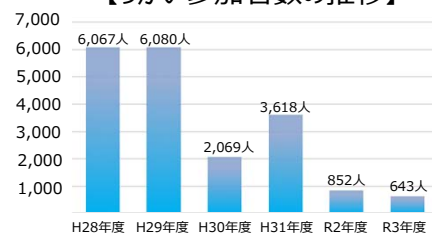
～景観に配慮した新橋～



～代表的な大洲市の観光～



【うかい参加者数の推移】



※H30年度は豪雨災害、R2～3年度はコロナウイルス感染防止対策の影響で参加者が減少

大洲のうかいは、岐阜市の長良川、日田市の三隈川と共に「**日本三大鶺鴒い**」と称されており、特に大洲のうかいは、**鶺鴒船と屋形船が併走しながら川を下るという国内唯一の「合わせ鶺鴒い**」といわれる手法で行われており、**毎年全国から多くの観光客が訪れます。**

～大洲の観光施策の取り組み～

- 愛媛県で初となる「**地域DMO**」を平成30年9月に発足
- 豊かな自然、歴史文化などの資源を活かし多様な観光メニューを提供
- 新たな観光資源を創出するとともに、市民、地域団体等による**地域資源を活かしたまちづくりや取組を支援**育成
- 大洲市の観光の魅力をPRし、交流人口、知名度の向上を図る
- 公衆無線LANの整備、案内サイン、パンフレットの多言語化などの**インバウンド対策**を推進
- 高速道路を通過する観光客が市内に立ち寄り取組の検討

【地域DMOの発足】



【インバウンド対策への取組】

